



「シリーズあれから2年」



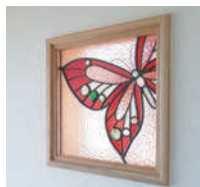
平成19年11月に完成した、自然ゆたかな兵庫県小野市にある、屋根の赤と壁の白がおしゃれでシンプルな洋風のすまいをご紹介します。

奥様のお父様と弊社の現場監督が同じ現場で汗を流したのがきっかけで、娘さん御夫婦をご紹介頂きました。産地見学会、完成見学会に何度も御来場頂き、すまい作り・木のことを熱心に勉強されました。奥様のこだわりは、赤で45度の矩(かね)勾配の屋根、真っ赤なキッチン、苦労して探された蝶の舞うステンドグラスを飾り窓に、などなどたくさんのご要望がすまいに盛り込まれました。「家中が暖かい」とお住まいになられて感じられたそうです。床は無垢の杉、断熱材は新聞紙をリサイクルした、調湿効果のあるセルロース

木のすまい仕様の家 「赤い屋根の木のすまい」

ファイバー(木質繊維)を充填したデコスドライ工法。1階を暖房すると、2階は暖房しなくても過ごせるというほど暖かいそうです。ご主人の感想は「家の中が暖かいので、外に出て初めて寒いことに気付くほど。家の中では季節感がなくなった(笑)」。いろいろある中で一番のお気に入り入りは、天井のシーリングファン。夏場は扇風機より活躍するそうで、「家に帰ると真っ先にファンを回します!」とご主人。冬も暖かい空気をおろすのに一役かっているそうです。

御夫婦共通の趣味である車は、建築中には車好きの現場監督と話が盛り上がり上がったそうです。今後はカーポート、ガレージなどを計画されているそうで、ますます楽しみです。あれから2年がたち、木のすまいを大切にされ、楽しく過ごされているのが伝わってきました。いつまでも御夫婦が健康で仲良く暮らされることを願っております。



「快適性」とは、熱収支のバランス。

人間の身体はエネルギーを消費し、熱を生み、温かい血液を体内に循環させて、体温を37℃程度に保つというシステムをもっているそうです。暖かい時には血管を広げ、血流量を増やして放熱を促し、涼しい時にはその逆の働きを行います。そして、体内で生まれる熱と、体外へ奪われる熱とのバランス(体温調整)がうまくいくと「快適」という状態になります。

暑い夏の日中、木陰のハンモックに揺られ、風に吹かれていたりすると暑さをあまり感じないのは、気流によって熱と汗の発散が促され、快適と感じる気温の上限が広がったことを意味しています。また、真冬の日向ぼっこもこれと同じ理屈で、周囲から放射熱を受けることにより、快適と感じる気温の下限が広がったことを示しています。

このように熱的な「快適性」を生む裏には、気温や湿度、気流、放射という「環境側」、つまりは家づくりにも関わる部分と、人体自身ももつ温熱生理という「人間側」の応答があるのです。

ひょうご木のすまい協議会
会長 三渡 圭介

【兵庫県林務課からのお知らせ】

県産木材利用融資がさらに使い易くなりました。

従来の融資条件に加え、環境配慮型住宅であれば、融資限度額が拡充されます。

- 新築・増改築
最高融資金額：2,700万円(返済期間25年以内)
- リフォーム
最高融資金額：900万円(返済期間10年以内)

※いずれも融資金利は平成21年度下半期1.8%固定。環境配慮型住宅の条件は下記のホームページをご覧ください。
URL : <http://web.pref.hyogo.jp/>

— ひょうご木のすまい協議会のイベントご案内 —

●ひょうごの木で家を作る『家づくりセミナー』(第8期)

兵庫県産の木材を利用した家づくりを学ぶ「家づくりセミナー」を開催します。再生産可能で産地や性能・品質が明確な県産木材を活用した住まいライフスタイルを提供します。計5回の講座を通し、木の家の良さや家づくりを進めていく上でのポイントを図解や映像を活用し解り易く解説します。

- ・開催日
【第1回】H22年 2月27日(土)
【第2回】H22年 3月27日(土)
【第3回】H22年 4月24日(土)
【第4回】H22年 5月29日(土)
【第5回】H22年 6月26日(土)
- ・時間 13:00~15:30
- ・費用 5,000円(5回分)
- ・場所 神戸 兵庫県民会館

※詳しくはお問合せ下さい。



小冊子

「キノコトイエノコト ひょうご2009」

「ひょうごの木を使った木の家」について、ユーザーの話や兵庫県林務課の話などが、掲載されております。ひょうご木のすまい協議会メンバーの紹介の「頼れる工務店、見てある記」では、より良くひょうご木のすまい協議会を理解していただく内容となっております。

※小冊子「キノコトイエノコト」の欲しい方は事務局まで～送り先を事務局までお知らせ下さい。

